



首都圏情報コーナー

第23回「囲碁・将棋の会」開催される

首都圏佐渡連合会の委員会のひとつである「趣味の会委員会」の囲碁・将棋の会の第23回大会が、去る10月2日、池袋の勤労福祉会館で行われた。この会は佐渡出身者の親睦の会として平成17年より活動している会である。委員長の織田末夫氏によれば、ここ数年は年間3回開催、毎回30名ほどの参加者があり、首都圏の同好の士にとって欠かせぬ憩いの場となっているようである。

当日は天候にも恵まれ、囲碁12組24名、将棋3組6名、総勢30名で対局が行われた。朝の和やかな時間からほどなく、勝負師の時間に入り、緊迫した対局がお昼を挟んで延々6時間も続いた。

この日の囲碁のAクラス（上段者）優勝は山本順一、以下準優勝・緒方俊夫、3位・丸山昭夫。Bクラスの優勝は菊地勇、以下準優勝・秋廣章一、3位・織田末夫。将棋は優勝が本間琢也、準優勝・若林明弘、3位・田中紀元（敬称略）であった。

表彰式の後は、近くの庄やで恒例の懇親会を開催。熱戦の後の喉を潤し、反省と自慢話でまた一段と親交を深め、次回の再会を約束して散会となった。（文責・佐渡市東京事務所 小路 徹）



対局前の集合写真



真剣な対局風景

SADO環境科学研究所 講演会

「地球温暖化と漁業」

講師 松山 優治 先生
(東京海洋大学学長)

日時 11月23日（水・祝）
午後1時～3時
(午後0時30分開場)

会場 金井コミュニティセンター
入場無料

近年、地球温暖化による第一次産業への影響が、多くの国で報告されています。自然環境と大きく関わる漁業への影響が問題となっており、佐渡においても地球温暖化の漁業への影響が心配されています。そこで水産海洋学の権威、東京海洋大学の松山優治学長をお迎えし、地球温暖化と漁業について、多くの市民、漁業関係者の方へ向けた講演会を開催します。ぜひ、お越しください。

お問い合わせ

伝統文化と環境福祉の専門学校
☎61-1122

随想

ゆき夢飛行

No. 60

佐渡市長 高野宏一郎

「アジア湿地シンポジウム無錫2011」へ参加

10月10日から14日まで中国の無錫へ出かけていました。ラムサール条約40周年記念・国際森林年協賛「アジア湿地シンポジウム無錫2011」が開催されて、アジアの湿地の保全について熱い提言と議論が続けられました。佐渡市は先に「ジラス（世界農業遺産）」の認定を受けたこともあって、招待参加で、特に生物多様性地域の実現へ佐渡の施策の具体例を示してプレゼンテーションを行いました。昨年の韓国のラムサール会議から水田も湿地として認められる「水田決議」がなされていて、佐渡市のほかには、いつも良きライバルである豊岡市の「コウノトリ」の中具市長も一緒でした。

中国も訪れるたびにすっかり変わってきていて、今では国内の経済はインフレで行き過ぎた成長からいかに経済を軟着陸させるかに腐心しているようですが、その方向転換も今までの手法は変わらず、都市近郊の湿地化についても住民を否応なしに強制移転させ、短時間で広大な湿地公園を造成するなど、日本の常識では判断できない荒っぽさでした。このような中国のスピードとそのダイナミズムがそのうち世界のスタンダードとなるとすれば、内向きになるうとする日本がますますガラパゴス化するのではと恐れながら帰国しました。

(題字 高野宏一郎)

